

「ほうべの思い出し 豊島町 誠さん

「あっちぃー」真夏の砂浜は非常に熱くて、子どもの素 足ではとても歩くことはできませんでした。それでも、夏休 みに表浜に行くことが多かったのには、理由がありまし た。当時は、まだ集落では漁業もしており、地引網をかけ て収穫した大きな魚を皆で分けたり、また、ほうべの小屋 で収穫した小魚を茹でていました。このようなことを、子ど もなりに大人と一緒になって行動することが楽しみであり 遊びでした。

この時代の地引網は、網を引き寄せるのは牛と人でし た。その当時の思い出は、ロープがどんどん引き寄せら れると、先端の袋までの間にロープに沿って網があり、そ の網に魚がかかっているのですが、その魚を私たち子ど もは我先にと採りにいきました。すると大人に「採るじゃあ ない」と叱られたり、蹴散らされました。それならばと、手繰 り寄せる網からこぼれ落ちた魚を狙ったものです。子ども 同士で採った数や大きさを競ったことを覚えています。

このような懐かしい表浜での思い出と、様変わりした 表浜の風景があります。子どもの頃の表浜は砂浜がもっ と広かったし、崖は草木に覆われていて、傾斜がなだら かでした。特に崖は、場所によって清水がかなりの水量 で流れ落ち海まで流れていました。また、なだらかな滑り 台のような場所もあって、板切れで滑って遊んだこともあ りました。しかし、今の表浜海岸は、以前の様相はまったく ありません。特に崖については、侵食が激しく崩落もあり、 なだらかさは消え荒々しくなった印象さえします。

自分の趣味の一つに海釣りがあります。魚好きの影響 でしょうか、今でも表浜に出かけますが、いつの頃からか 表浜海岸では、崖の侵食や崩落を何とか食い止めようと いろいろと工夫されているのがよく分かります。子どもの 頃からの思い出をもっている者には、昔の景色には戻ら ないですが、これ以上の侵食や崩落は防いでいただき たいと願っています。





表浜海岸の地引網風暑

### 平成25年度事業計画

### ■ 主要事業

### 第16回表浜自然ふれあいフェスティバル

- 日時 平成25年11月30日 午前9時~午後1時 ※悪天候の場合は平成25年12月1日(日)に延期
- 場所●久美原~大草の表浜一帯
  - ※親睦会場は谷ノ口海岸「表浜ほうべの森公園」
- 内容 海岸清掃、地引網(予定)、フライングディスクゴルフ、 特産鍋の無料提供ほか
- 目的。表浜海岸の魅力、海岸侵食などの現状を広くPR することで海岸整備の促進を図る

### ■主な推進事業

農村総合整備事業:田原市産業振興部農政課 「大草·高松地区、田原東部地区」

農地・水・環境保全向上対策:田原市産業振興部農政課 「六連·神戸·大草·田原東部各校区」

海岸治山事業:愛知県東三河農林水産事務所

海岸保全対策:愛知県東三河建設事務所

森林公園整備[谷ノ口地区]:田原市都市建設部街づくり推進課

# 表浜自然ふれあい

H24 12.1 開催



海岸侵食が進む表浜の現状と自然の魅力をPRすることを 目的に、毎年開催しているこのフェスティバルも15回目を迎 えました。青空の下、約1.800人の参加者が、久美原海岸~ 大草海岸までの海岸清掃を実施しました。清掃活動後、メ イン会場となった百々海岸では、地引網やビーチフラッグス などを楽しんだほか、各校区の女性が作った無料の特産 鍋などを味わいながら、交流を深めました。

★表浜情報誌「潮騒」や「協議会活動」に対するご意見・ご要望・ご感想をお寄せください。 【発行】田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会(事務局:田原市役所政策推進課) 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 TEL0531-23-3507

この冊子は再生紙を使用しています。



### 2013.11.1

田原市市制施行10周年事業として、「表浜ほう べの森」公園内に海鳴り実行委員会が石窯を作 りアートフェス「海鳴~UMINARI2013」におい て、完成お披露目会を行いました。

今年度は、表浜自然ふれあいフェスティバル の親睦会をこの公園で実施いたします。地元食 材を使用したピザなどをこの石窯で焼いて、皆 さんに食べていただきたいと思います。

### 田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会 表浜地域づくり情報誌

しおさい



















◆表浜風土記 ◆平成25年度事業計画

◆表浜むかし話「三人兄弟と牛|













#### ※表浜ほうべの森公園の整備

田原市東部太平洋岸総合整備推進協議会では、平成10年3月に策定した基本 計画に基づきまして平成13年12月に谷ノ口地区を海浜拠点整備のモデル地区と

現在、谷ノ口地区で行なわれている「ええZONEマーケット」や「表浜ほうべの森公 園」は、ええZONEガーデン整備計画に基づくもので、都市と農村との交流拠点施 設として整備しています。

### 「みんなで考え・行動する地域づくり」

## 田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会の概要

### ■会長あいさつ

本協議会も発足以来17年を経過し、神戸・大草・六連・ 田原東部の4校区が一丸となり、少しずつではあります が、自立した地域活動を歩み進めてまいりました。

平成17年に策定しました谷ノ口地区整備基本計画に つきましては、市と協働で、集落環境整備が進められてい ると同時に、「表浜ほうべの森 | の整備も着手しておりま す。協議会として、また、東部太平洋岸地域全体としても、 その実現が大いに期待されているところであります。

今後も、4校区のつながりをより深くするとともに、渥美半 島が一つになり、同じ海岸環境を持つ地域との連携も視 野に入れながら、行政と一体となって取り組んでまいりた いと思っています。

最後に、太平洋岸の快適で住みよい生活環境整備が 実現されるよう活動していきたいと願っております。

### 田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会 会長 小林直春

### ■協議会組織 (平成25年10月現在・順不同)

### ◆協議会活動の経過◆

協議会発足

H8.3 沿岸部に関する地元要望作成 H9.3 基本構想「サングリーン21 | 策定 《方向性》・自然環境の保全と活用

農業基盤、農村環境の整備

・観光・レクリエーション施設の整備

・幹線道路の整備

《展 開》・太平洋岸の魅力を発信するイベントの開催

・海浜・崖森・農地エリアのエリア別の整備促進

・渥美半島全体の連絡調整

関係機関への要望運動等の展開

専門部会設置

海浜・崖森エリアの基本計画策定

H10.10 農地エリア整備の地元検討書作成

H10.11 第1回表浜自然ふれあいフェスティバル開催(以後毎年開催)

H13.12 海浜拠点整備地区の選定(谷ノ口地区)

ええZONEガーデン整備計画策定(谷ノ口総合整備促進協議会)

国土交通省事業一地域振興アドバイザーを受け入れ( // )

H17.3 谷ノ口地区整備基本計画策定( / )

役員	会長	小林直春(六連校区会長)
	副会長	彦坂雄三(神戸校区会長)、彦坂善弘(大草校区会長)、村上誠(田原東部校区会長)
委員	市議会議員	赤尾昌昭、彦坂久伸、仲谷政弘、牧野京史、大竹正章
	漁業関係者	冨田實(愛知外海漁業協同組合理事)、松井一光(愛知外海漁業協同組合理事)
	市農業委員	細井儀宣、大谷行利、渡辺守成、太田小八
	市役所	林 勇夫(副市長)、小川金一(産業振興部長)、太田次男(都市建設部長)、前田和宏(教育部長)
顧問		鈴木克幸(田原市長)、山本浩史(愛知県議会議員)、中神享三(愛知みなみ農業協同組合代表理事組合長)
事務局		田原市役所政策推進部(政策推進課)

### ●表浜自然ふれあいガーデン 実現に向けての動き

### ハード事業

### ◆海岸整備(県事業)

◇海岸保全事業(傾斜護岸):百々海岸(H19)、離岸堤調査·工事(豊橋田原海岸) ◇海岸治山事業:12箇所要望中

### ◆拠点地区の整備促進(市事業)

- ◇公衆便所整備事業:谷ノ口海岸(H9)·大草海岸(H10)·百々海岸(H11)·東ヶ谷海岸(H13)
- ◇海岸駐車場事業:大草海岸(H11)·百々海岸(H12)
- ◇道路整備事業:南谷ノ口1号線改良(H15)・寺前上り口線拡張(H16~H18)・高畑谷ノ口線改良(H17)・ 谷ノ口海岸線拡張(H17~)・R42公民館前交差点改良(H18~)
- ◇公園整備事業:表浜ほうべの森整備(H18~)

### ◆表浜自然ふれあいフェスティバル(協議会事業)

◇メイン海岸: H10谷ノ□・H11大草・H12百々・H13東ヶ谷・H14大草・H15百々・H16分散開催・H17大草・ H18百々・H19東ヶ谷・H20大草・H21百々・H22東ケ谷・H23大草・H24百々

### ◆表浜のレクリエーション

- ◇健康ウォーキング大会(市教育委員会): H10東ヶ谷海岸・H11大草海岸・H14谷ノ口海岸・H15百々海岸・H17百々海岸
- ◇ふれあいウォーキング大会(六連青少年健全育成):H13六連海岸

### 農地エリアの整備 実現に向けての動き

#### ハード事業

#### ◆農村・農地の整備(市事業)

◇農村総合整備事業:神戸地区(H12~H16)·大草、高松地区(H18~)·田原東部地区(H19~)

◇農用地基盤整備事業:谷熊新田排水対策(H20~) ◇農地・水・環境保全向上対策(H19~)

#### ソフト事業

### ◆農地基盤に関する実態調査(市事業)

◇農地基盤再整備に関する調査:H11表浜全域

道路·排水·農地区 画・ため池などの農業 基盤に加え、集落環境 を含め総合的な整備 促進を図ります。

多額の予算を必要と

する海岸保全事業の

継続的な実施には、国

土保全・防災面に加え、

表浜海岸の持つ多面

的価値の創造を行い、

投資効果の向上を図る

必要があります。



# 「三人兄弟と牛」

### 山田もと著

門の椿の木に、大きな黒牛をつないで、六年の正、 四年の徳、三年の勝が牛小屋のまやをあげています。

よごれたしきわらを備中に引っかけて、たいひ小 屋へひきずりながら、「おーもい、おーもい。」 「くーさい、くーさい。」

正と勝は、げらげら笑いながら、ひきずっています。 「おしら、なにょおちょうけとるだ。はや、やら んか。

徳がどなります。日曜日の朝の、三人のきまった 仕事です。新しいしきわらも入れてやります。

「さあ、牛をつれてこいよ。」

おとっつぁんがよびました。三人兄弟は顔を見合 せました。

この牛は、浜で地引きあみをひく牛ですが、うち であずかっているのです。太いつのは天にむかって にゅーっとのび、大きな目はぎょろりー、ぎょろり 一。浜で大ぜいの人にこき使われているせいか、と ってもきついのです。

「おし、つれてってくよ。」

「なんだ兄きのくせに、つれてけよ。」

[.....t-L.]

正は口をきっとむすんで、そうっと牛にちがづ き、せ中に手をかけ、

「よし、よし……。」

とたんに牛は、ぐふーんと大きくくびをふり、足 をふみならしました。

「ひやーつ。」

正はとびのきました。勝はちかづくだけで牛にに らまれ、大きな息をふっかけられて、ちぢこんでし まいました。

前からうちにいる牛は、へいきでさわれるし、牛 車も引かせられるのに。

「ぼうっ、ぼうーっ。」

徳はにこにこしながら、牛のよこ腹をぱたぱた たたいて前へいき、目をようく見ながら、椿の木 のつなをとくと、

「しつ、ちょーつ。」

と号令をかけました。くびをふろうとする牛の鼻 木を、しっかりつかんでいます。牛小屋の前でお とっつあんが、

「おしがつれてきたか、おしがなあ…。」

「こんな牛ぐらい、へっちゃらさ。」

「そうっか、おしがなあ。**」** 

「兄き、へっぴりごしでちかづくだもの、なめら れちゃうよ。

「百姓家の長男が、牛にもさわれんでどうするず ら。あとがつげるずらか。し

ぶつぶついってる、おとっつあんの小声は、だ れの耳にも入りません。

大きくなって、正は飛行機のりになって、戦争 で死にました。徳が牛を使って、百姓をやるよう になりました。



【著者紹介】◎1920年

◎1957年 ◎1992年

◎2004年

神戸村大草志田生まれ ◎1939年~47年 野田尋常小学校へ勤務 名古屋童話作家協会入会 田原町町政功労者表彰

山田さんは、田原中部小学校のPTA機関誌「家庭と学校」へ1964年から41年間にわたっ て156もの作品を寄せ、田原に伝わる民話や伝説、田原に縁のある人物の伝記はもちろん、地 域の子どもたちの暮らしぶりを伝え、多くの皆さんに心豊かな安らぎを与えてくださいました。 「表浜むかし話」では、山田さんのご逝去後も、その作品を紹介させていただいております。